

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 中学部	学 年	1年・2年・3年
教科等名		音楽	学習グループ（教育課程）	B（知的代替）
ねらい		（知・技）曲や曲名の雰囲気と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくり、身体表現の技能を身に付ける。 （思・判・表）音楽表現において表したい思いや意図をもち、音や音楽を味わいながら聴くことができる。 （主）すすんで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。		
担当教師		教師：細谷鈴奈 藤塚大輔 中島海美 櫻井泰子 CG：三上和美 川上健太郎		
年間授業時数		1年：75 単位時間 2年：74 単位時間 3年：73 単位時間		
使用教科書		1年：音楽☆☆☆☆（東京書籍） 2年：うたいましょう おどりましょう（あかね書房） 3年：音楽☆☆☆☆（東京書籍）		
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）	指導の工夫
4	季節を感じよう	13	○楽器の音色を聞いたり、触れたりする。 ◆音楽の授業の流れに見通しをもち、主体的に参加しようとする。 ○季節の曲や映像を鑑賞する。 ◆楽器の音色や映像から、季節を感じ取る。 ・始まりの曲（名前呼び） ・今日の楽器 ・打楽器の演奏（手指で直接触れる楽器） ・歌唱「校歌」 ・鑑賞	・音色に合わせて映像も提示することで、季節を感じやすくする。 ・鑑賞では選択肢を用意し、気に入った曲を選ぶようにする。
5				
6	音の違いを感じよう	1年：14 2年：14 3年：13	○楽器の音色を聞いたり、様々な奏法やリズムを試したりする。 ◆パチやマレットを使用し、2つの音をどちらも鳴らそうとする。 ○世界各国を代表する楽器の名称と、音色を知る。 ◆各楽器の名称が分かり、音の特徴を聴きとることができる。 ・始まりの曲（名前呼び） ・今日の楽器 ・打楽器の演奏（2つの音程が鳴る楽器） ・歌唱（季節の日本歌曲） ・鑑賞	・実態に合った太さ、固さのマレットを使用する。 ・教師は2つの音程の違いを身体でも表現し、伝える。 ・曲の終始が明確になるよう、簡潔な前奏と後奏をピアノで示す。
7				
9	合奏をしよう	15	○自分の役割を知り、合奏に参加する。 ◆ピアノ伴奏と友達の演奏に合わせ、タイミングよく演奏する。 ○季節の曲や映像を鑑賞する。世界各国の音楽を鑑賞する。 ◆各楽器の名称が分かり、音の特徴を聴きとることができる。 ・始まりの曲（名前呼び） ・今日の楽器 ・合奏 ・歌唱（季節の日本歌曲） ・鑑賞	・実態に合った太さ、固さのマレットを使用する。 ・グループで繰り返し練習することで、自分の役割を整理して演奏する。
10				
11	世界各国の音楽を演奏しよう、鑑賞しよう	1年：14 2年：13 3年：14	○好きな音色の楽器を選択し、様々な奏法やリズムを試すなどする。 ◆パチやマレットを使用し、選択した音を鳴らそうとする。 ○季節の曲や映像を鑑賞する。世界各国の音楽を鑑賞する。 ◆楽器の音色や映像から、世界各国の曲想を感じ取る。 ・始まりの曲（名前呼び） ・今日の楽器 ・打楽器の演奏（複数の打楽器から選択する） ・歌唱（季節の日本歌曲） ・鑑賞	・それぞれの打楽器を効果的に提示し、期待感をもって選択できるようにする。 ・実態に合った太さ、固さのマレットを使用する。
12				
1	日本の伝統音楽を演奏しよう、鑑賞しよう	1年：19 2年：19 3年：18	○日本の伝統的な曲や楽器の、世界観や音を感じる。 ◆和楽器の映像から演奏するイメージを膨らませ、鳴らそうとする。 ○季節の曲や映像を鑑賞する。日本の伝統的な音楽を鑑賞する。 ◆楽器の音色や映像から、日本の伝統的な音楽の特徴を感じ取る。 ・始まりの曲（名前呼び） ・今日の楽器 ・打楽器の演奏（様々な和楽器） ・歌唱（季節の日本歌曲） ・鑑賞	・日本の正月飾りなどを提示することで、視覚的にも正月の雰囲気を感じ取れるようにする。
2				
3				

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門中学部		学年	1年・2年・3年
教科等名		外国語（英語）		学習グループ(教育課程)	B（知的代替）
ねらい		(知・技) アルファベットを覚えたり、英単語での表現について知り、外国語で伝えることができるようにする。 (思・判・表) 自分が伝えたい事柄を考え、どの単語を使って伝えるかを判断し、自分の気持ちを表現することができる。 (主) 外国語を使って、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。			
担当教師		教師：藤塚大輔 櫻井泰子 中島海美 鶴沼利枝 C G：三上和美 川上健太郎			
年間授業時数		1年：38単位時間 2年：37単位時間 3年：37単位時間			
使用教科書		1年：NewABCofENGLISH 単語編（三省堂書店） 2年：CDつき 楽しく歌える英語のうた（成美堂出版） 3年：英語カード あいさつと話しことば編（くもん出版）			
	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容◆ねらい（評価の観点）		指導の工夫
4	挨拶や自己紹介をしよう	7	○英語で挨拶を交わしたり、自己紹介したりする。 ◆教師や友達に対して積極的にコミュニケーションをとる。		・ I C T 機器を活用し、動画や音楽を用いて楽しく学習できるようにする。 ・ 歌やゲームを通して声に出す反復練習することで英語を身近なものと感じられるようにする。 ・ 自信をもってコミュニケーションをとれるように、ネイティブとの関わりを体験する場を設ける。
5	アルファベットを覚えよう		○アルファベットを聞き分けたり、文字の形を見分けて同じものを探したりする。 ◆自分の名前のアルファベットを選ぶことができる。		
6	クイズに答えよう	7	○What is this?の表現を使い、クイズに答えたり、クイズを出したりする。 ◆疑問形のアクセントで伝えることができる。		
7					
9	動物園に行こう	8	○動物の単語や I like ～. という表現を使って活動する。 ◆I like ～. を使って自分の好きな動物を表現できる。		
10	カウントしよう		○英語で動物の数を数える。 ◆英語で 10 まで数えることができる。		
11	外国の冬の行事を知ろう	1年：7 2年：6 3年：7	○外国の行事などを知り、外国の文化を体験する。 ◆行事に関連する英単語や自分が行いたいことを表現することができる。		
12					
1	It's a small World	1年：9 2年：9 3年：8	○イギリス、スイス、オーストラリアなどの国の文化に触れる。 ◆その国の歌を聴いて活動したり、楽しかったことを表現できる。		・ 英語で挨拶をしたり、英語の指示を聞いて行動したりすることに慣れるようにする。
2	色と形		○造形を通して、色や形の英語表現を学ぶ。 ◆自分の好きな色や形を選んで英語で発音することができる。		
3					

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 中学部		学 年		1 年・2 年・3 年	
教科等名		職業・家庭		学習グループ（教育課程）		B（知的代替）	
ねらい		職 業	(知・技)職業について関心をもち、将来の職業生活に係る基礎的な知識や技能を身に付けようとする。 (思・判・表)将来の職業生活に必要な事柄について触れ、課題や解決策に気づき、実践するなど、課題を解決する力の基礎を養う。 (主)将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫しようとしている。				
		家 庭	(知・技)生活の自立に必要な家族や衣食住、消費等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 (思・判・表)家庭生活に必要な事柄について触れ、課題や解決策に気づき、実践するなど、日常生活において課題を解決する力の基礎を養う。 (主)家族や地域の人々とのやりとりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする態度を養う。				
担当教師		教師：藤塚大輔 櫻井泰子 中島 海美 C G：三上和美 川上健太郎					
年間授業時数		1 年 3 7 単位時間 2 年 3 7 単位時間 3 年 3 7 単位時間					
使用教科書		1 年：坂本廣子のひとりでクッキング①朝ごはんをつくろう！（偕成社） 2 年：坂本廣子のひとりでクッキング②昼ごはんをつくろう！（偕成社） 3 年：坂本廣子のひとりでクッキング⑦おべんとうをつくろう！（偕成社）					
月	単元（題材）名		指導時数	主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）		指導の工夫	
通 年	みんなの役に立つ			○依頼に応じた活動 ◆頼まれた仕事を理解し、最後までやり遂げようとする。		・達成感を感じられるように、報告し称賛される場面を設定する。	
4	挨拶の仕方を知る		12	○場に応じた挨拶の仕方 ◆家庭生活や職業生活に関わる挨拶を身に付ける。 ○様々な軽作業 ・掃除、台拭きなど ◆掃除の方法や事務作業などの基本的な仕事を体験する。		・職業生活で使えるような、丁寧な言葉を指導する。 ・注意すべき点を意識できるよう、確認する。	
5	働く力を高める①						
6							
7							
9	挨拶を実践する		15	○場に応じた挨拶 ◆学習した挨拶を、主体的に、作業の中で使う。 ○様々な軽作業 ・コピー、シュレッダーなど ◆掃除の方法や事務作業などの基本的な仕事を体験する。		・必要に応じ、絵カードやV O C A、語彙シートを準備する。 ・必要に応じ、ガイドなどが分かりやすい教材を作成する。	
10	働く力を高める②						
11							
12							
1	衣服の着方や手入れの仕方を学ぶ		10	○衣服の着方や手入れの仕方 ◆場面に応じた日常着の着方や手入れの仕方を知り、実践する。 ○様々な軽作業 ・物品補充、ごみの分別など ◆掃除の方法や事務作業などの基本的な仕事を体験する。		・生徒の反応を待ち、主体的な活動を促す。 ・手順表を作成し、一人で見通しをもって取り組めるようにする。	
2	働く力を高める③						
3							

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 中学部	学 年	1年・2年・3年
教科等名		作業学習	学習グループ(教育課程)	B (知的代替)
ねらい		(知・技) 安全への配慮や基本的な道具の扱い方などを知り、日常生活でも活用できる力を身に付ける。 (思・判・表) 将来の社会参加に向けて、生徒一人一人が生き生きと生活するために必要な意欲や態度を培い、人間関係の形成を図る。 (主) 作業活動を計画的に継続して行うことで、主体性や充実感、達成感を得る。		
担当教師		教師：藤塚大輔 櫻井泰子 中島海美 C G：三上和美 川上健太郎		
年間授業時数		1年 79 単位時間 2年 80 単位時間 3年 80 単位時間		
使用教科書		なし		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)	指導の工夫
4	作業の流れを知る クリアファイル作り	1年 29 2年 29 3年 27	○作業学習について見通しをもつ ◆身支度、作業の準備の流れを知る。 ◆報告、連絡、相談の仕方を知る。 ◆丁寧な言葉遣いや挨拶を身に付ける。 ◆作業に取り組む姿勢や落ち着き、集中力、達成感など、働く態度や意欲を身に付ける。 ○オリジナルクリアファイル作り ◆クリアファイル作りの手順を知り、正しく行うことができる。 ◆作業に興味をもち、意欲をもって取り組めるようになる。	・昨年度の作業について振り返り、今年度の具体的な内容を示す。 ・使用する用具や材料の大きさ、重さ、形状、材質、など生徒が安全に扱えるものを使用する。 ・担当する工程を一定にしたり、変化を付けたりする。
5				
6				
7				
9	分担して作る	1年 16 2年 17 3年 17	○オリジナルクリアファイル作り ◆作る手順が分かり、集中して自らが担当する作業を進めることができる。 ◆分業し、協力して製品をつくる経験を積む。	・個別に行う作業と友達と協力する作業と分け、それぞれに合わせた作業環境を作る。 ・挨拶の言葉、依頼の言葉、感謝の言葉を、場に応じて、自分から、使い分けることができるように、具体例を示す。
10				
11	リサイクル活動を体験する	1年 14 2年 14 3年 16	○古紙や裏紙のリサイクル活動 ◆リサイクルの流れを知り、手順を覚える。 ◆作業に必要な道具を理解し、円滑な扱い方を身に付ける。	・挨拶の言葉、依頼の言葉、感謝の言葉を、場に応じて、自分から、使い分けることができるように、具体例を示す。
12				
1	メモ帳作り	1年 20 2年 20 3年 20	○古紙や裏紙のリサイクル ◆活動に見通しをもって、主体的に活動に取り組む。 ◆分業し、協力して製品をつくる経験を積む。	・体調に合わせて作業内容を構成する。
2				
3				

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 中学部	学 年	1年・2年・3年
教科等名		保健体育	学習グループ（教育課程）	B（知的代替）
ねらい		（知・技）運動の楽しさや喜びに触れ、個々の特性に応じた動きで身体を動かす技能を身に付けている。 （思・判・表）各種の運動の自分やグループの課題を見付け、その解決に向けて自ら思考し判断しているとともにそれらを他者に伝えている。 （主）きまりや簡単なスポーツのルールなどを守り、友達と協力したり、安全に留意したりして、最後まで楽しく運動しようとしている。		
担当教師		教師：藤塚大輔 櫻井泰子 中島海美 C G：三上和美 川上健太郎		
年間授業時数		1年73単位時間 2年73単位時間 3年72単位時間		
使用教科書		1年：こどものずかん Mio（みお）⑨ひとのからだ（ひかりのくに） 2年：かがくのとも傑作集きゅうきゅうばこ（福音館書店） 3年：子どもの健康を考える絵本④からだが好きなたべものなあに？（偕成社）		
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）	指導の工夫
通 年	身体作り運動		○ラジオ体操、ストレッチ、ヨガ ◆多様な動きを体験し、身体をほぐしたり、体力を向上させたりする。	・リラックスして取り組めるよう、環境を整える。
4	陸上運動 水泳	23	○集合・整列・準備体操・授業参観発表 ◆健康の保持増進や体力の向上を図る。 ○課題走練習・走競技・投競技・デフリンピックについて ◆ルールを理解し、完走する技能を身に付ける。	・興味をもちやすい活動を設定する。 ・個々に対して意欲的に取り組める目標を設定する。 ・興味をもちやすい個々の課題を設定する。 ・補助具を使用し、恐怖感や抵抗感を和らげる。
5			◆身体のいろいろな使い方を学び、楽しみながらボディーイメージを高める。	
6		4	◆デフリンピックの種目やルール、競技環境に興味・関心をもつ。 ○水慣れ・個別の泳法練習	
7			◆個別の課題に取り組み、歩行など水中でしかできない動きを経験する。	
9	水泳 球技	3	○水慣れ・個別の泳法練習 ◆個別の課題に取り組み、歩行など水中でしかできない動きを経験する。	・補助具を使用し、恐怖感や抵抗感を和らげる。 ・的となる対象物を見やすくする。 ・実態に応じて傾斜台等を使用する。
10			○ボッチャ、ティーボール ハンドサッカー	
11		25	◆仲間と連携し、ゲーム展開できるようにする。相互に影響を与え、関わっていることを理解する。	
12				
1	武道	9	○武道の基本的な挨拶と技の練習 ◆相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を覚え、基本となる技ができるようにする。	・感性を大切にしてい、個々が表現したい動きの支援を行う。 ・支援方法を工夫し、主体的な動きを引き出す。 ・多くの身体部位を使う活動を設定する。
2	ダンス	1年9 2年9 3年8	○仲間と共に感じを込めて同じ動きを合わせたり、イメージを捉えて自己を表現したりする。 ◆感じを込めて踊り、集団で息を合わせる楽しさや喜びを味わう。	
3				

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 中学部		学 年	1 年・2 年・3 年	
教科等名		生活単元学習		学習グループ（教育課程）	B（知的代替）	
ねらい		(知・技) 自分と身近な社会や自然との関わりについて興味や関心をもち、知識の幅を広げる。理科や社会科的な学習に取り組み、知識や体験を豊かにする。 (思・判・表) 自立的な生活に向けて自身に必要な基礎的な能力と態度を考え、身に付ける。 (主) 学校生活や日常生活に関連した単元を通して、課題に主体的に取り組み、具体的な経験を積み重ねる。				
担当教師		教師：藤塚大輔 櫻井泰子 中島海美 C G：三上和美 川上健太郎				
年間授業時数		1 年 1 5 7 単位時間 2 年 1 4 8 単位時間 3 年 1 4 7 単位時間				
使用教科書		1 年：世界の国旗カード1 集（くもん出版）、科学シリーズ地球（福音館） 2 年：日本地図カード（くもん出版）、でんじろうの DVD でわかるおもしろ実験（講談社） 3 年：みぢかなかがくシリーズ町たんけんはたらく人みつけた（福音館）、小学館の図鑑 NEO プラスくらべる図鑑（小学館）				
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）		指導の工夫	
通 年	図書に親しもう		○図書館の利用 ◆適切に図書館を利用し、読書に親しむ。		・学習内容が分かりやすいように提示する。 ・個別に課題を設定して取り組めるようにする。 ・安全に道具を使えるように指導する。 ・場合によって図書とインターネットを使い分けて指導する。 ・生徒が進んで意見を出しやすい雰囲気作りをする。	
4	新しい生活の準備をしよう	11	○自己紹介、目標、日直表の作成 ◆新しい環境に慣れ、自分の課題を確認する。			
5	作物を育てよう	22	○栽培・収穫 ○収穫物の販売経営 ◆成長経過を知り、収穫の喜びを知る。 ◆販売の仕事内容やその工夫を知る。			
6			デフリンピックについて学ぼう	1 年 21 2 年 21 3 年 19		○デフリンピックの調べ学習 ◆デフリンピックに興味・関心をもつ
7						
9	社会見学へ行こう	20	○社会見学の事前・事後学習。場所、時間、見学内容、代金の支払い、まとめ ◆社会見学に興味・関心をもつ。			
10	日本の地理		1 年 15 2 年 11 3 年 12	○日本の地図と都道府県 ◆都道府県名や特産品を調べ日本の地理に興味をもつ。		
11						世界の国々
12	ニュース調べ	16	○社会の出来事に関心をもち、調べ学習を行う。 ◆毎回ニュースを調べ、自分の言葉で発表する。			
1	しか湯に入ろう	1 年 18 2 年 18 3 年 18	○バスボム作り、清掃、接客、等の係分担の話し合い ◆自分の健康や衛生について意識を高め、友達と協力して作業を進める。			
2		感謝の気持ちを伝えよう	1 年 19 2 年 18 3 年 17	○他者に喜んでもらうために、活動内容や係分担の話し合い活動を行い、調理、清掃、接客の仕方、教室の装飾作成に取り組む。 ◆自分の役割を自覚し、進んで活動に取り組む。		
3						

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 中学部			学 年	1年2年3年
教科等名		総合的な学習の時間			学習グループ（教育課程）	B（知的代替）
ねらい		（知・技）課題の解決に必要な知識及び技能を身に付ける。 （思・判・表）自分で情報を集め、整理して、まとめたり表現したりすることができるようにする。 （主）互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参加しようとする。				
担当教員		教師：藤塚大輔 櫻井泰子 中島海美 CG：三上和美 川上健太郎				
年間授業時数		1年：42単位時間 2年：41単位時間 3年：41単位時間				
使用教科書		なし				
月	単元（題材）名	指導時数			○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）	指導の工夫
4	1学期の目標を決めよう	1年 2	2年 2	3年 2	○目標を決める。 ・目標を決め、発表する。 ◆自分で目標を考えることができる。	・活動に見通しがもてるように、活動内容や流れを分かりやすく提示する。
	学校内のルールを知ろう	6	6	6	○学校内の廊下の歩き方を知る。 ・学校内での廊下やスロープの歩きかたの方法を学ぶ。 ◆廊下を歩く方法を自分で出来たり、介助者に伝えられたりできるようになる。	
5						
6	1学期まとめの会をしよう	7	7	6	○まとめの会の企画、準備 ◆話し合いを行い、意見を出し合う経験を積む。	・視聴覚機器を使用し、イメージがもてるようにする。
7						
9	2学期の目標を決めよう	2	2	2	○目標を決める。 ・目標を決め、発表する。 ◆どの教科で何を頑張るかを考えることができる。	・各活動の中で個々の課題を設定し、達成感を感じられるように工夫する。
10	防災について	9	8	9	○災害とその防災を知る。 ・具体的な避難の方法を知る。 ◆防災の方法や、防災グッズなどについて学ぶ。	
11	2学期まとめの会をしよう	6	6	6	○まとめの会の企画、準備 ◆招待する相手のことを考え、準備をする。 ◆話し合いを通して、相手の意見を受け入れる経験を積む。	
12						・インターネットを利用できるように環境を整える。 ・写真や映像、成果物を活用し、学習内容を振り返る。
1	3学期の目標を決めよう	2	2	2	○目標を決める。 ・目標を決め、発表する。 ◆1学期、2学期の達成度から、教科や何を頑張るかを考えることができる。	
2	交通ルールについて	3	3	3	○交通ルールについて学ぶ。 ◆道路を歩く時の方法を学ぶ。	
3	3学期まとめの会をしよう	5	5	5	○まとめの会の企画、準備 ◆招待する相手のことを考え、計画的に準備をする。 ◆様々な意見を出し合い、よりよい計画をたてる意識をもつ。	

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 中学部	学 年	3 年
教科等名		特別活動（学級活動）	教育課程	準ずる／知的代替／自立
ねらい		(知・技) 集団での活動を通して、友達や教職員と関わり、コミュニケーション能力の向上を図る。 (思・判・表) 行事などの練習を積み重ね、発表する。 (主) 取り組みに期待感をもって主体的に参加する。		
担当教師		教師：藤塚大輔 細谷鈴奈 出口睦貴 中島海美 C G：三上和美 川上健太郎		
年間授業時数		4 5 単位時間		
使用教科書		なし		
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）	指導の工夫
4	新転入生歓迎会	17	○学部で新入生を迎える。自分を知ってもらうための自己紹介。 ◆最高学年になった自覚を高める。	・単元によって教師の担当を決め分担する。（年間を通して） ・一部の友達だけでなく、色々な友達と関わられるように配慮する。（年間を通して）
5	年間予定について		○年間予定を知り、係決めをする。 ◆自分の係に意欲的に取り組めるようにする。	
6	係決め・スローガン・卒業制作 作成		○授業参観発表の練習する。 ◆練習を積み重ね当日発表する。	
7	修学旅行 事前・事後学習		○努力したことの発表をする。 ◆修学旅行に見通しと目標を持ち思い出深い経験をする。	
9	夏の思い出を発表	17	○楽しかった思い出を発表する。 ◆写真を見て自分の言葉で発表する。	・写真を映し出す視聴覚機器を使用する。 ・虹輝祭は、生徒が自発的に取り組めるように配慮する。 ・イメージしやすい写真や映像を用意する。
10	虹輝祭 事前・事後学習		○虹輝祭の舞台発表では友達と協力して練習を重ねる。	
11			○頑張ったことを発表する。 ◆皆に伝わるように発表する。	
12	二学期まとめ会			
1	冬休みの思い出発表	11	○楽しかった思い出を発表する。 ◆写真を見て自分の言葉で発表する。	・見通しがもてるように、呼名や式歌の練習を繰り返し行う。
2	卒業に向けて		○卒業に向けての準備をする。 ◆写真などを用いて中学部での思い出を振り返る。	
3	卒業式練習		○卒業式の流れを知り練習を重ねる。 ◆厳かな態度で参加できるようにする。	
	三学期まとめ会		○頑張ったことを発表する。 ◆皆に伝わるように発表する。	

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 中学部	学 年	3 年
教科等名		日常生活の指導	学習グループ(教育課程)	準ずる／知的代替／自立
ねらい		(知・技) 健康状態の維持や改善に対する意欲を高め、健康の自己管理ができるようにする。 (思・判・表) 身辺処理や学習環境の整備に対する意識や態度を育て、安全に日常生活を過ごす力を付ける。 (主) 食事や教室環境に関する衛生マナーの習慣を主体的に身に付ける。		
担当教師		教師：藤塚大輔 櫻井泰子 中島海美 C G：三上和美 川上健太郎		
年間授業時数		3 年 1 9 3 単位時間		
使用教科書		なし		
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）	指導の工夫
4	健康状態の維持、増進	68	○生活管理 ◆生活リズムの安定や調節を図り、体調の自己管理をする。	・生活リズムの安定や調節を図れるよう、体調の自己管理を促す。
5	水分補給、感染症予防の取り組みなどによる体調の自己管理		○休息、水分補給などの自己管理 ◆自分の体調と向き合い、休息・水分補給をし、自己管理ができるようになる。	・自分ですべきことを理解できるように指導する。
6			○自ら活動する習慣を身に付ける ◆自分のすべきことを理解し、活動する。 ◆周囲の状況をみて、活動に安全に取り組む。	・周囲の状況をみて、活動に安全に取り組めるように環境を整備する。
7				
9	時間を考えた行動と準備	77	○関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持、強化 ◆身体の筋緊張などの調節が図れ、様々な身体の機能の向上や維持につなげていく。	・チェックリストなどを提示し、自身で荷物を管理するよう促す。
10				
11	適切な運動及び筋力の維持、強化			
12				
1	場面に応じたマナー	48	○衛生マナーの習慣化 ◆手洗いなどの衛生マナーの意味を理解し主体的に行うことができるようになる。	・手洗いなどの衛生マナーを主体的に行うよう、言葉掛けやできた時の称賛などを行う。
2				
3				

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 中学部	学 年	1年・2年・3年
教科等名		国語	学習グループ（教育課程）	B（知的代替）
ねらい		（知・技）自分の考えを文で書いたり、平仮名や漢字などを書いて覚えたりするなど、書く力を高める。 （思・判・表）文章や口語、物語の内容を理解し、物語の世界への興味・関心を高める。 （主）自分の思いを、自分の言葉で伝えようとする気持ちを高める。		
担当教師		教師：藤塚大輔 櫻井泰子 中島 海美 CG：三上和美 川上健太郎		
年間授業時数		111 単位時間		
使用教科書		1年：にほんごだいすき1ーワークブッカー（むぎ書房） 2年高嶋式 子どもの字がうまくなる練習ノート（PHP研究所） 3年：漢字がたのしくなる本ワーク①基本漢字あそび（太郎次郎社） 五味太郎言葉図鑑6 くらしのことば（偕成社） ゆっくり学ぶ子のための「こくご」②（同成社） こくご☆☆☆☆（東京書籍）		
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）	指導の工夫
通 年	課題別学習	通年	○言葉とイラストのマッチング、プリント学習、平仮名の書き、漢字の読み ◆読んだり書いたりする文字を増やすことができる。	・言葉を、ゆっくりと伝える。 ・発話を促す。 ・図書館の利用を定期的に行う。 ・擬音、比喻など興味を引く表現のある本や、繰り返しの表現や人物の対比がある本を選ぶ。 ・身近なものの絵や写真を手がかりに、文字を書く練習をする。 ・生活に則した言葉として使えるよう、他の教科や生活単元学習の内容と関連付ける。 ・個別と集団の両方の学習形態で進める。
4	物語に親しもう	38	○図書館で自分の好きな本を借りて読んだり、好きな本を発表したりする。 ◆本に慣れたり、読み聞かせを聞いたりして語彙を増やすことができる。	
5				
6	音読をしよう		○短い文章や詩の音読 ◆話せる言葉を増やしたり、明瞭に発声したりする。	
7				
9	物語に親しもう	44	○図書館で自分の好きな本を借りて読んだり、好きな本を発表したりする。 ◆本に慣れたり、読み聞かせを聞いたりして語彙を増やすことができる。	
10				
11	手紙を作ろう		○年賀状などお便りの書き方 ◆相手への気持ちを言葉で表現できる。	
12				
1	書き初めをしよう	29	○書道 ◆自分の名前や好きな言葉を、毛筆で書くことができる。	
2	物語に親しもう		○図書館で自分の好きな本を借りて読んだり、好きな本を発表したりする。 ◆本に慣れたり、読み聞かせを聞いたりして語彙を増やすことができる	
3				

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 中学部	学 年	1年・2年・3年
教科等名		数学	学習グループ（教育課程）	B（知的代替）
ねらい		（知・技）数量や図形についての基礎的な概念を理解する。 （思・判・表）基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気づき、数学的な表現を用いて表現する力の素地を養う。 （主）数学的活動の楽しさや数学の良さに気づき、自ら生活や学習に活用しようとする態度を養う。		
担当教師		教師：藤塚大輔 櫻井泰子 中島海美 CG：三上和美 川上健太郎		
年間授業時数		118単位時間		
使用教科書		1年 ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」④（同成社）2年 ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」⑤（同成社）3年 数学☆☆☆☆（教育出版）		
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）	指導の工夫
通 年	課題別学習	通年	○数、一対一対応、計算 ○形 ◆個々の課題に沿った数の理解ができるようになる。	・一人一人の課題に沿った個別指導を行う。 ・具体物を利用して指導する。 具体物（模型） つみき はめ板 おはじき 時計の模型 紙幣、硬貨のレプリカ ・繰り返して学習し、理解の定着を図る。 ・生活に即した数量として分かるように、生活単元学習などの学習内容と関連する。
4	数、計算 時刻と時間	18	○弁別、集合数、順序数 ○5、10、数の合成、分解 ○時間と時刻 ◆個々の課題に沿った数の理解ができるようになる。 ◆簡単な時計の読み方や時間を理解できる。	
5				
6				
7	数、計算 金銭	18	○金銭 ・硬貨の種類、代金、おつり ◆金銭について身の回りの生活と結び付けて考えることができる。	
9				
10	数、計算 長さ 重さ 広さ かさ	30	○長短、測定 ○重い、軽い、はかり ○広さ比べ、単位 ○かさ比べ ◆長短や重さの概念を理解し区別することができる。 ◆広さや量の概念を理解し区別することができる。	
11				
12	数、計算 こよみ	9	○弁別、集合数、順序数 ○月、日、曜日、年、カレンダー ◆簡単な暦を理解できる。	
1	数、計算 図形 一年間のまとめ	30	○形の弁別、形の性質、平面と立体 ◆図形の特徴に気づき、理解できる。 ◆一年間学習してきたことを振り返り、理解できる。	
2				
3				

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門中学部	学 年	1 年・2 年・3 年
教科等名		美術	学習グループ(教育課程)	B (知的代替)
ねらい		(知・技) 造形的な視点に気付き、材料や用具の扱い方に親しむとともに、表し方を工夫する技能を身に付ける。 (思・判・表) 経験したことや思ったことを基として、発想、構想するとともに、身近にある作品などから、自分の見方考え方を広げることができる。 (主) 主体的に美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を高め、心豊かな生活を営む態度を養う。		
担当教師		教師：出口睦貴 藤塚大輔 櫻井泰子 中島 海美 C G：三上和美 川上健太郎		
年間授業時数		1 年：7 2 単位時間 2 年：7 2 単位時間 3 年：7 2 単位時間		
使用教科書		1 年：「やさしくおれるたのしいおりがみ」(東京書店) 2 年：「母と子の手づくり教室 母と子のたのしい草木ぞめ①」(さ・え・ら書房) 3 年：「楽しい図画工作⑭こすりだし・すりだし」(国土社)		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点)	指導の工夫
4	描いてみよう・作ってみよう	2 4	○様々な技法を使い、自己紹介カードを制作し発表する。	・生徒の実態に応じた素材や道具を使用する。 ・生徒が課題に取り組みやすい腕の角度、配置を工夫する。
5	体育発表会に向けて		○体育発表会に向けた装飾を制作する。	
6	色彩の表現		◆自分に合った技法を用いて、作品を制作することができる。	
7	タブレット端末で絵を描こう		○タブレット端末のアプリケーションで作品を制作する。	
9	虹輝祭に向けての制作	2 6	◆明度、彩度についてのイメージを広げる。	・制作前に実演を行い、見通しをもって取り組めるよう支援する。 ・必要に応じて教師が手を添え、素材の感触を味わいながら造形に取り組む。
10	形の表現		○虹輝祭に向けた作品や装飾を制作する。	
11	季節の飾り物(秋・冬)		◆使用する素材の感触を味わい、自ら制作したい作品をイメージする。	
12	タブレット端末で絵を描こう。		◆素材の色や形態を意識して制作する。	
1	色々な技法で絵を描こう	2 0	○造形、道具を使った作品制作。	・生徒の実態に合わせた材料や道具を用意する。 ・生徒が作品を楽しめるような鑑賞の工夫と言葉掛けを行う。
2	季節の飾り物(冬・春)		◆完成像を意識して、作品を制作することができる。	
3	一年間のまとめ		○季節の壁面装飾を行う。	
			◆様々な季節の素材に触れながら活動に取り組む。	
			○タブレット端末のアプリケーションで作品を制作する。	
			◆明度、彩度、色相についてのイメージを広げる。	
			○モダンテクニックの手法などを使い、模様作りや表現の広がりを知る。	
			◆自分の得意な動きでモダンテクニックの手法に親しむことができる。	
			○季節の壁面装飾を行う。	
			◆様々な季節の素材に触れながら活動に取り組む。	
			○一年間で制作した作品の鑑賞を行う。	
			◆友達と作品を鑑賞し、良さや美しさなどを認め合う。	

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 中学部	学 年	1年・2年・3年
教科等名		自立活動	学習グループ（教育課程）	B（知的代替）
ねらい		一人一人の生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服できるように自立活動の6区分に則って指導を行う。		
担当教師		教師：藤塚大輔 櫻井泰子 中島海美 C G：三上和美 川上健太郎		
年間授業時数		1年 87 単位時間 2年 90 単位時間 3年 90 単位時間		
使用教科書		なし		
月	単元（題材） 名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）	指導の工夫
4	身体の手組み	1年 32 2年 34 3年 33	○身体の手組み ◆誘導されたように筋緊張を緩める。 ◆誘導された感覚を感じ取り、筋を伸ばす。 ◆誘導されたように仰向けでおしりをあげる。 ◆誘導されたように座位を行う。 ◆足底をつけて立ち上がる。 ◆片下肢へ重心を移し、歩行を行う。 ・ストレッチ、ブリッジ、寝返り、よつばい、膝立ち、立ち直り、立ち上がり、立位、歩行	・校医（整形外科）、外部専門員と連携を図り、継続的に手組めるようにする。 ・鏡を活用し、自分で姿勢を確認できるようにする。
5				
6				
7				
9	身体の手組み	1年 34 2年 34 3年 35	○身体の手組み ◆誘導されたように筋緊張を緩める。 ◆誘導された感覚を感じ取り、筋を伸ばす。 ◆骨盤を起こして保持を行う。 ◆体幹を伸展させて座位を行う。 ◆重心を前方へ移し、立ち上がる。 ◆足で踏ん張りバランスをとる。 ◆体幹・骨盤を回旋させて歩行を行う。 ◆手すりにつかまり1足1段で階段昇降を行う。 ・ストレッチ、ブリッジ、寝返り、よつばい、膝立ち、膝歩き、立ち直り、立ち上がり、立位、歩行、階段昇降	・校医（整形外科）、外部専門員と連携を図り、継続的に手組めるようにする。 ・歩行器等の教具を使用する。
10				
11				
12				
1	身体の手組み	1年 21 2年 22 3年 22	○身体の手組み ◆筋緊張を緩めて筋を伸ばす。 ◆膝の中間の使い方を理解する。 ◆体幹を回旋させてバランスをとる。 ◆障害物に対応し、歩行を行う。 ◆手すりにつかまり1足1段で階段昇降を行う。 ◆両手を使って教材を操作する。 ・ストレッチ、ブリッジ、寝返り、よつばい、膝立ち、膝歩き、立ち直り、立ち上がり、立位、歩行、階段昇降、上肢操作	・校医（整形外科）、外部専門員と連携を図り、継続的に手組めるようにする。 ・手指の巧緻性を高めるために、タブレット端末やパズルなどの教材を使用する。
2				
3				